

御中

平成 年 月 日

製品規格証明書

製品名称	ALGC		
製品構成	アルミ箔	厚み 重量 純度 JIS	0.02mm 54.2g/m ² 99.3% H4160
	接着剤	材質	水溶性アクリル系樹脂
	ガラスクロス	厚み 重量 密度 織り方 JIS	0.11mm 86g/m ² 16×15本/25mm 平織り R3414-EP11E
製品特性	燃焼性	防災1級合格品 (試験方法 JIS-A1322)	
	透湿度	0g/m ² /24hr (試験方法 JIS-Z0208) ※上記値は製品製造時の実測値の一例であり、規格値ではありません	
製品規格	25mm単位(1000mmまで)×30m 1000mm×30m~1200m		
指定仕様	各官公庁の機械設備工事共通仕様書による、規格適合品です		
※本書記載内容は弊社製品に該当するものであり、類似製品等には一切関係ありません。又、納品したことを証明するものではありません。			

製品安全データシート

製造者情報
会社名 東海アルミ箔株式会社
住所(本社) 〒220-0004 横浜市西区北幸二丁目六番一号 日総第二ビル
担当部門 蒲原工場 生産技術課
担当者(作成者) 生産技術課長 中嶋俊夫
電話番号 (0543)-85-5101
FAX番号 (0543)-85-6332
緊急連絡先 東海アルミ箔株式会社 蒲原工場
電話番号 (0543)-85-5101
整理番号 002 作成・改訂 1996年12月19日

製品名(化学名、商品名等) アルミニウム箔

物質の特定
単一物質・混合物の区分 : 単一物質
化学名 : アルミニウム
成分及び含有量 : 99.30%以上
化学式又は構造式 : Al
官報公示整理番号(化審法、安衛法) : 該当しない
CAS No : 7429-90-5
国連分類及び国連番号 : 国連の定義上危険物に該当しない

危険有害性の分類
分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : データ無し
有害性 : データ無し
環境影響 : データ無し

応急措置
目に入った場合 : 粉・粉塵が目に入った場合は、清浄な流水で清浄する。その後痛みが残る場合には、直ちに眼科医の診療を受ける。
皮膚に付着した場合 : 熔融状態で付着した場合は、冒された部分に大量の水を流して局部を冷却し、重度の火傷の場合は直ちに医者の診察を受ける。
吸入した場合 : 粉・粉塵を多量に吸入した場合は、患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、速やかに医者の手当を受けさせる。
飲み込んだ場合 : 経口毒性は低いが、大量に製品を飲み込んだ場合は医者の診断を求めること。

火災時の措置
消化方法 : 板やコイルの状態では製品は燃えない。粉末やチップの状態では乾燥粉末か砂を用いること。
消化剤 : 乾燥粉末、乾燥砂、二酸化炭素
水や塩化物の消化剤は用いないこと。

漏出時の措置 特に不要

取扱い及び保管上の注意
取扱い : 打痕を生じるような衝撃を与えないように注意する。
箔の端面で手を切る危険性があるので、素手で触れない。

保管 : 雨水に濡らさないように注意する。又酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物等化学物質と接触する場所に保管してはならない。

暴露防止措置

管理濃度 : 規定されていない
設備対策 : 特に不要
保護具
呼吸用保護具 : 圧延品の状態では必要なし。
塵埃、細かなチップ、旋盤屑または粉末が存在する場合には、防護マスクを着用すること。
保護眼鏡 : 粉塵や細かなチップを生ずるような作業においては安全眼鏡を用いること。
保護手袋 : 手先を損傷する可能性がある場合には、保護手袋を用いること。
保護衣 : 定められた作業衣、安全靴を着用すること。

物理/化学的性質

外観等 : 銀色の延性金属(固体)
沸点 : 2060℃
融点 : 660℃
比重又は嵩比重 : 2.71
水に対する溶解性 : 溶けない
水に対する反応性 : 固体では反応しない

危険性情報

引火点 : ℃ 発火点 : ℃
爆発限界 上限 : ℃ 下限 : ℃ 可燃性 : ℃
発火性 : 特になし
酸化性 : 通常の雰囲気では、薄い自然酸化皮膜で表面が保護され、それ以上酸化しない。
自己反応性 : 特になし
粉塵爆発性 : 粉塵の状態になると爆発しやすい。特に放電源がある場合には危険である。
安定性・反応性 : 圧延品の状態で通常雰囲気中に保管されれば安定である。アルミ粉や微細なチップの状態では以下の様に反応する。

反応する相手の物質	発生する別の化学物質
水	徐々に水素と熱を発生する。
熱	温度の上昇に応じて酸化する。
酸とアルカリ	反応して水素を発生する。
強力な酸化剤	激しい酸化と共に光熱を発生する。
ハロゲン化合物	特に微細なアルミ粉の場合は激しく反応する。

有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性 : 特になし
刺激性 : 特になし
感応性 : 特になし
急性毒性(50%致死量等を含む) : 特になし
亜急性毒性 : 特になし
慢性毒性 : 特になし
がん原性 : 特になし
変異原性(微生物、染色体異常) : 特になし
生殖毒性 : 特になし
催奇形性 : 特になし
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 特になし

環境影響情報

分解性 : データなし

製品安全データシート

製造者情報
会社名 : 株式会社 トウペ
住所 : 堺市築港新町1丁目5番地11
担当部門 : 大阪技術部 化成品技術課 担当者 : 橋本雅司
電話番号 : (0722)43-6412 FAX番号 : (0722)43-6416
緊急連絡先 : 大阪技術部 化成品技術課 電話番号 : (0722)43-6412

整理番号 作成・改定 平成10年8月25日

製品名(化学名、商品名) XB

物質の特定
単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : エチレン-酢酸ビニル-アクリル酸アルキル共重合体
水性エマルジョン
成分及び含有量 : エチレン-酢酸ビニル-アクリル酸アルキル共重合体
(50.5%)、水(49.5%)
化学式又は構造式 : —
官報公示整理番号 : (化審法・労安法)6-30
CAS No : —
国連分類 : 該当せず
国連番号 : 該当せず

危険有害性の分類
分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 :
有害性 :
環境影響 :

応急処置
目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間目を清浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら清浄する。
吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の処置
消化方法 : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消化剤を用いて消化する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消化剤 : 水、強化液、泡消化剤、粉末消化剤

漏出時の処置
流路を毛布、土嚢等を用いて堰き止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。

変異原性 : 知見なし(微生物、染色体異常)
生殖毒性 : 知見なし
催奇形性 : 知見なし
その他 : 知見なし(水と反応して有毒なガスを発生する等含む)

環境影響情報
分解性 : 知見なし
蓄積性 : 知見なし
魚毒性 : 河川等に流出した場合は、エマルジョン中の樹脂の粘着に依る呼吸困難の為、魚類が死亡する場合がある。
その他 :

廃棄上の注意 : 廃棄は焼却により行う。
洗浄水等の排水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
水質汚濁防止法に御注意下さい。
又、廃棄物については廃棄物処理法に御注意下さい。

輸送上の注意 : 運搬に際しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
参考資料 日本エマルジョン工業会編
「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

適用法令 : 日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」の分類基準に掲げられる諸法令の適用を受けない。

その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)
: 危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いには十分注意して下さい。
: 参考資料 (社)日本化学工業協会編「製品安全シートの作成指針」

※本書は、原料メーカーの発行する原本を、(株)サンヨーバリヤのコンピューターに再入力したものです。

製品安全データシート ※

製造者情報	会社名	日東紡績株式会社 福島工場
	住所	〒960-8581 福島市郷野目字1番地
	担当部門	品質保証部 産資品質保証課
		TEL 024-546-6180 FAX 024-545-6954
	作成	1999年 10月 13日

※当製品はMSDSの作成を必要とする分類基準に該当しませんが、自主的にMSDSを作成し情報提供を行う
ものであります。

製品名(商品名) **ガラス長繊維品**
(ガラスクロス : WLA 90C 102)

物質の特定	単一製品・混合物の区別	: 集束剤及び結合剤を含む単一製品
	化学名	: アルミナ硼珪酸ガラス (E-ガラス・無アルカリガラス)
	成分及び含有量	: Eガラス > 98% (別紙参照) 強熱減量 < 2%
	構造式	: 非晶質網目構造
	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: 該当なし
	CAS No	: 65997-17-3
	EINECS No	: 266-046-0
	国連分類及び国連番号	: 該当なし

危険有害性の分類	分類の名称	: 分類基準に該当なし
	危険性	: ガラス繊維は、静電気を帯びやすい性質があります。例えばローピングやクロスのガラス長繊維製品をガイドやゴムロールに通して運転する作業では、静電気が起こります。静電気のアークが火種になる場合があります。又、作業者が静電気に触れて驚き二次災害を起こす事も考えられます。必ずアースを取るとか、静電気除去装置を取り付ける等の対策を行って下さい。
	有毒性	: ガラス繊維製品や作業中に飛散したガラス繊維に触れると皮膚・眼喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こす事があります。
	環境影響	: 現在のところ有用な情報なし。

応急措置	目に入った場合	: 清浄な水で最低15分間、流し洗いをして下さい。もし、痛みが残るようであれば、医師の診断を受けて下さい。
	皮膚に付いた場合	: 絶対にこすらないで下さい。(皮膚に刺さった場合には、毛抜きで刺さったガラス繊維を折らないように注意して抜いて下さい。) 最初、流水で洗い、次いで温水で石鹼で洗って下さい。入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。
	吸入した場合	: 清浄な水で10回位うがいをして下さい。又、軽く鼻をかんで下さい。もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば、医師の診断を受けて下さい。
	飲み込んだ場合	: 吐き出させ水で良く口を洗って下さい。もし吐き出さないなど異常があれば医師の診断を受けて下さい。

火災時の措置	消化方法	: 通常の消化方法を取って下さい。									
	消化剤	: ガラス繊維自体は水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれかでも有効です。但し、まわりの状況(発火原因など)によって適切な消化剤を選定して下さい。									
	その他	: ガラス繊維自体は不燃性ですが、繊維上に加工した集束剤や、表面処理剤は一般に可燃性です。									
漏洩時の処置		: 床面などにこぼれた場合は、速やかに粉塵が飛散しないよう静かに清掃し空容器や袋等に詰めて一般産業廃棄物と同様の扱いとする。									
取扱い保管上の注意	取扱い	: 吸い込んだり、眼、皮膚にできる限り触れないようにする。 必要に応じ手袋、保護眼鏡(ゴーグルタイプが望ましい)、防じんマスク(国家検定品:取り替え式・使い捨て品)を使用して下さい。									
	保管	: 製品は、直射日光が当たらず、高温多湿とならない屋内に保管して下さい。保管条件が不適切な場合には、ガラス長繊維製品の集束剤や表面処理剤等の加工剤に変質を生じ、所定の性能が得られなくなる場合があります。									
暴露防止処置	管理濃度	: ガラス長繊維製品は鉱物に該当し、粉じん則の規定に該当する作業場の場合、遊離珪酸が0%であるから、吸入性粉じん管理濃度は、2.9mg/立方mとなる。 $M=2.9/(0.22Q+1)$ (M:管理濃度、Q:粉じん中の遊離珪酸含有率(%))									
	許容濃度	: ガラス繊維粉じんは、第3種の粉じんに該当し許容濃度を次のように定めています。									
		<table border="0"> <tbody> <tr> <td>・吸入性粉じん</td> <td>2mg/立方m (勧告値)</td> <td>日本産業衛生学会('98年度版)</td> </tr> <tr> <td>・総粉じん</td> <td>8mg/立方m (勧告値)</td> <td>日本産業衛生学会('98年度版)</td> </tr> <tr> <td>・TLV-TWA</td> <td>10mg/立方m</td> <td>ACGIH('96年度版)</td> </tr> </tbody> </table>	・吸入性粉じん	2mg/立方m (勧告値)	日本産業衛生学会('98年度版)	・総粉じん	8mg/立方m (勧告値)	日本産業衛生学会('98年度版)	・TLV-TWA	10mg/立方m	ACGIH('96年度版)
	・吸入性粉じん	2mg/立方m (勧告値)	日本産業衛生学会('98年度版)								
・総粉じん	8mg/立方m (勧告値)	日本産業衛生学会('98年度版)									
・TLV-TWA	10mg/立方m	ACGIH('96年度版)									
設備対策	: 局所排気装置及び、洗顔・洗身・うがい・更衣設備・洗濯設備等の設置が望ましい。										
保護具	呼吸用保護具	: 必要に応じ防じんマスク(国家検定品)の着用が望ましい。									
	保護眼鏡	: 必要に応じ保護眼鏡(ゴーグルタイプ)の着用が望ましい。									
	保護手袋	: 皮手袋等ガラス繊維を通しにくいものの着用が望ましい。									
	保護衣	: 上衣:襟付き長袖(手首の締まった)ゆったりしたもの 下衣:長ズボン(足首の締まった)									
	物理化学的性質	外観	: 白色のガラス繊維集合体								
	分解点(°C)	: 特性なし									
	沸点(°C)	: 特性なし									
	粘度	: 特性なし									
	蒸気圧(Pa)	: 特性なし									
	臭気	: 無臭									
	揮発性	: 特性なし									
	凝固点(°C)	: 特性なし									
	融点(°C)	: (軟化点)約840									
	比重(25°C)	: 約2.54(塊状)									
	溶解度(水)	: ほとんど溶けない									
	蒸気密度(空気=1)	: 特性なし									